

加茂小地域 地域別計画(案)

＜第3期 令和6～13年度＞
(2024～2031年度)

令和6年5月策定
加茂小コミュニティ協議会

目次

第1章 地域別構想	1
1 地域別構想とは	1
2 加茂小地域の地域別構想	1
第2章 地域別計画について	4
1 計画策定の趣旨	4
2 計画の特徴	4
3 計画の期間	4
4 計画の推進方法	5
5 第2期計画を終えての振り返りと今後の方針	6
6 計画の体系	7
第3章 令和6～13年度の取組み事業	8
1 継続事業	8
2 重点プロジェクト	11

第1章 地域別構想

1 地域別構想とは

令和6年度から令和13年度までの8年間を計画期間とする第6次川西市総合計画

「心地よさ 息づくまち 川西」がスタートします。

地域別構想は、第6次川西市総合計画における地域の取組みとして総合計画を補完し、地域の特性や多様性を尊重したまちづくりを進めるために策定されたものです。

5つの柱

- 01 人が豊かに育つ川西の実現
- 02 にぎわいが生まれる川西の実現
- 03 安全安心を備えた川西の実現
- 04 快適な環境で暮らせる川西の実現
- 05 変革の歩みを止めない川西の実現

また、第6次川西市総合計画では目指す都市像の実現に向けた取組みの方向性をイメージしやすいよう川西市の強みを活かす左表5つの柱（分野別目標）が設定されており、地域別構想においては市の総合計画を補完し地域の現況、魅力、課題から地域のありたい姿を、人が豊かに育つ・にぎわいが生まれる・安全安心・快適な環境・情報発信に整理し策定しました。

2 加茂小地域の地域別構想

1) 地域の現況

加茂小地域は川西市南部に位置し、北は JR 宝塚線沿いに、南は中国縦貫自動車道、西は宝塚市に接し、東は寺畑前川・最明寺川沿いに加茂橋から中国縦貫自動車道側道までの範囲です。

北部に隣接する JR 川西池田駅周辺には大型商業施設などが集積し、地域内幹線道路通称桃源台線・産業道路沿いには商業施設がある一方、都市型近郊農業が営まれている地域もあります。

2) 地域の魅力と課題

地域のまちづくり活動を進めるためには地域の魅力を活かしながら課題の解決に臨んでいくことが重要です。

地域のまちづくり活動のもとになる「地域の魅力」と「地域の課題」を次のとおり整理します。

地域の魅力	地域の課題
<ul style="list-style-type: none">・加茂遺跡、川西市文化財資料館・宮川石器館、歴史ある鴨神社・イチジク、桃・最明寺川の清流や川沿いの梅・桜並木がある、夏の夜のホタル・JRや阪急電鉄の駅が近くて便利・第1公園から見る風景	<ul style="list-style-type: none">・地域への関心が低下している・自治会員が減少し、活動が活発でない・自治会役員への負担が集中している・高齢者が気軽に集まれる場が少ない・子どもの遊び場が少ない・歩道や道路の状態が悪い・空き家が増加している

3) めざす地域像

加茂小地域には加茂遺跡があるなど古（いにしえ）の時代からまちの営みが脈々と続いており私たちには後世へと伝承していく使命があります。

また、最明寺川にはホタルが飛び交い野鳥が飛来するなど自然が残る中、春には諸処に桃の花が咲き乱れ、市の特産物であるいちじくや桃の栽培が盛んな資源があふれる地域です。

今後も先人から引き継いだ歴史や自然を地域の誇りとして大切にし、地域の輪を広げながら暮らしに生かしていきます。

－ キャッチフレーズ －

ホタルが飛び交い、^{いにしえ}古の^{ロマン}浪漫漂う
笑顔と躍動のまち ^{かも}加茂



4) 地域のありたい姿

めざす地域像の実現に向けた地域のありたい姿を、川西市第6次総合計画の5つの柱の視点を「人が豊かに育つ」「にぎわいが生まれる」「安全安心」「快適な環境」「情報発信」に即して掲げます。

人が豊かに育つ

- 地域から一旦転出した若い人が、また戻ってきて住みたいと思えるような地域にしたい
- 子どもたちの笑顔があふれるような地域にしたい
- 地域の祭りや伝統行事に多くの住民が参加する地域にしたい
- スポーツやレクリエーションを盛んにして生きがいくりに結びつけたい

にぎわいが生まれる

- いちじくや桃などの特産品、遺跡などの加茂小地域にしかない資源を地域住民が大切に
する地域にしたい

安全安心

- 全ての高齢者が元気に過ごすことができる地域にしたい
- みんなが安全で快適に生活できるよう、ルールの遵守、マナーの普及が進んだ地域にしたい
- あいさつや声掛けを通して住民のつながりが出来るような地域にしたい
- 地域の方の防災意識を高め、有事には住民が連携して助け合う地域にしたい

快適な環境

- 最明寺川の清掃・美化を進めホタルを守りたい
- 子どもたちが自由に遊べる公園を確保したい

情報発信

- これからもホームページ・メールマガジン等によりコミュニティ活動の情報や魅力を発信
をします
- 様々な年齢層でホームページへのアクセスやSNSでの情報を受けれる様にしたい

第2章 地域別計画について

1 計画策定の趣旨

地域別計画は、地域別構想で記載された地域のありたい姿の実現を図り、地域全体で今後の取組みの方向を共有できる羅針盤として策定します。

また、地域別計画に位置付けられた事業の実施に必要な財源は、市からコミュニティ組織への一括交付金を基本とし、その他コミュニティ組織の自主財源・ふるさと支援金等で賄われます。

2 計画の特徴

1) 地域住民が作り上げた計画

この計画は、第2期地域別計画の実績評価に基づき、今後の課題と改善点及び取組み方向を令和5年度に於いてPDCAサイクル手法で策定された計画です。

2) 地域全体で共有する計画

この計画は、地域に関わるだれもがでありたい姿を共有し、ともにまちづくりを進めるための考え方や方針を、地域住民の視点に立ち、簡潔に分かりやすく示した計画です。

3) 実効性の高い計画

この計画は、めざす地域像やありたい姿を明確にするとともに、ありたい姿を実現するための取組みを具体的に盛り込んだ、実効性の高い計画です。

3 計画の期間

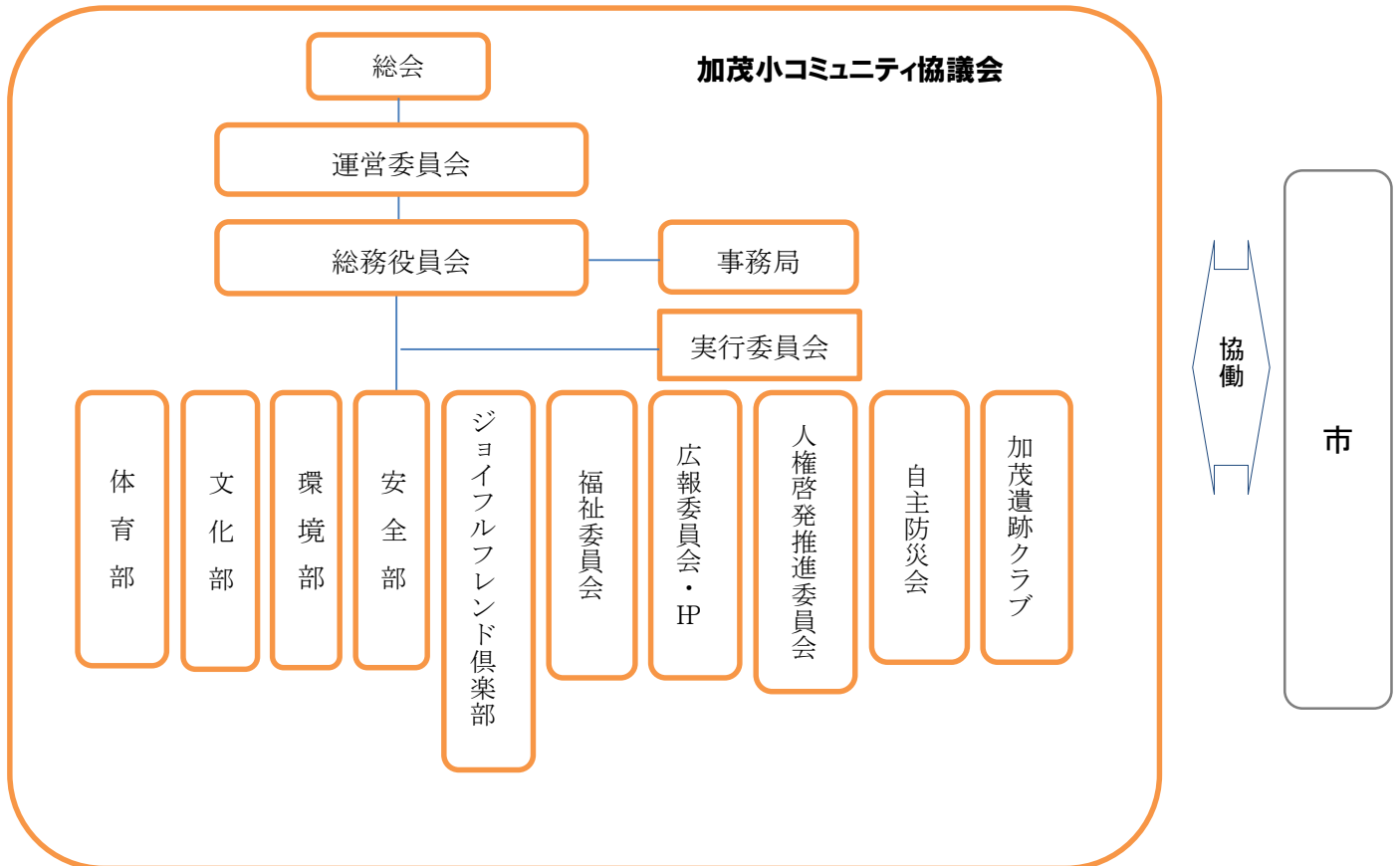
この計画は、第6次川西市総合計画と整合性を図るため、令和13年度までの期間内における計画とします。第3期計画は令和6年度から令和13年度までとします。

計画名	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
第6次川西市総合計画	基本構想								
	中間目標					目標			
加茂小地域地域別計画	地域別構想								
	第3期計画								

4 計画の推進方法

1) 計画の実行

この計画は、地域を包括する公共的団体である加茂小コミュニティ協議会が実行することが基本となります。同コミュニティ協議会では、自治会や各種団体、小・中学校、こども園そして事業者が連携・交流・役割分担を積極的に進め、お互いの絆を強め、地域課題の解決を図ることで、よりよい地域づくりに取り組んでいきます。



2) 計画の進行管理・評価

この計画の進行管理・評価はPDCAサイクル 計画（Plan）をたて、それを実行（Do）し 実行の結果を評価（Check）し、さらに計画の見直し（Action）を行うという一連の流れを活用します。PDCAサイクルの活用により各取り組みの改善点が明らかになり、今後の取組みに活かすことが可能となります。

なお、状況によっては、計画期間の満了を待つことなく計画を一部変更するなど、柔軟な運用を図ります。

5 第2期計画を終えての振り返りと今後の方針

1) 継続事業（62項目）についての振り返り

全体事業・部・委員会事業に於いて全ての取組みを実施。それぞれ一定の評価を得ました。尚、全体事業の市民体育祭は加茂コミスポーツデーに名称変更し、スローイングビンゴ大会は全体事業から外し、どんとまつり・カラオケ大会は廃止、世代間交流バス旅行・交流ハイキングは世代間交流イベントとします。

にぎやか発表会は、登録団体より年1回の開催希望があり、夏もしくは冬のにぎやか発表会として開催します。加茂まつりはR5年度に盆踊りとして開催しました。

川西市環境衛生推進協議会は廃止となりました。

広報委員会の「機関誌発行」についてはホームページの運用も合わせて行っており、負担が増えていることから、年3回から年数回へと変更し、柔軟に対応することとしました。

2) 新規事業（3項目）についての振り返り

1. 全体

重点プロジェクト「HPの開設」は、市のコミュニティチャレンジ事業の補助を受け H30（2018）7月にホームページを開設。チャレンジ事業の3年間以降もコミュニティの重点プロジェクトとして、外部委託企業のサポートも受けながら新規事業を展開しました。スマホサイトの開設、メールマガジン配信スタート、住民向け講習会の開催、防災マップの作成（Google版・紙面版）、コミュニティ紹介ポスターの作成、サーバー・関連機器の充実・強化、公式LINE開設、コミュニティパンフレット作成（R6年4月配布）など。コミュニティを知らない人や知っている人にもより分かりやすく参加しやすいコミュニティ活動を目指す広報手段の一つとして今後も運用を続けていきます。新規事業としては一旦、区切りとし今後はホームページの更新・維持管理、メールマガジン・公式LINEの配信を続けていきます。

2. 福祉委員会

世代間交流事業として「もちつき大会」を検討しましたがコロナによって中止となりました。

3. 地域活動活性化プロジェクト

令和5年度に加茂まつりとして「盆踊り」を開催しました。今後も内容等を検討しながら継続していきます。

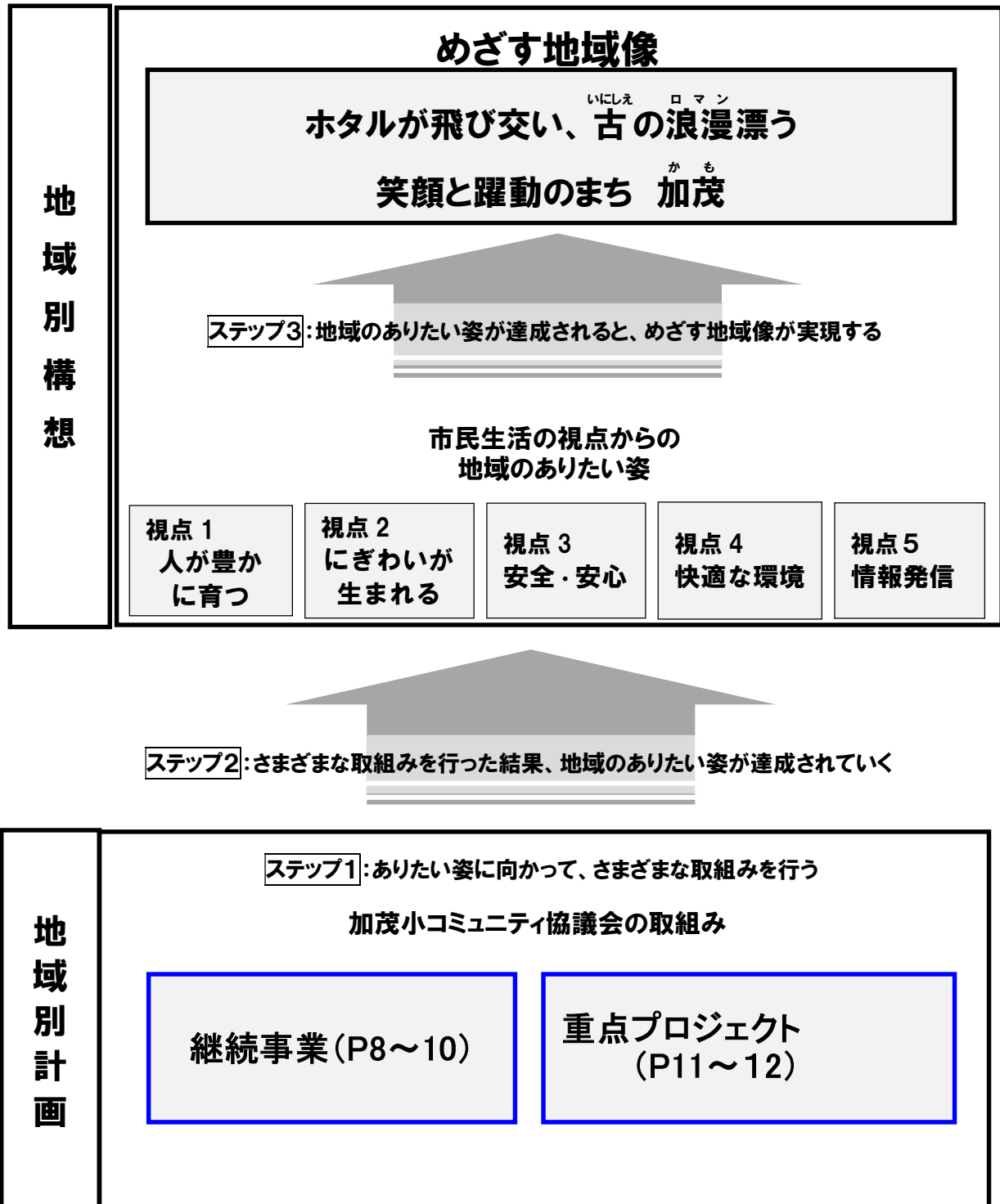
3) 今後の方針

第3期地域別検討委員会に於いて、継続される事業に対して課題等のご意見を頂いて評価表を作成しており、事業実施時に反映できるよう改善を図っていきます。

重点プロジェクトの「加茂遺跡クラブ」「自主防災会」の更なる充実を図るため、年間事業計画の内容を検討し進めていきます。

6 計画の体系

地域別計画では、これまでコミュニティなどが小学校区単位で行っている地域課題の解決に向けた自主事業を継続事業と位置付けます。さらに、地域の課題を解決するために新たに実施する自主事業を新規事業とし、新規事業の中で計画期間内に重点的に取り組むものを重点プロジェクトとします。これらの取組みを行うことにより、地域別構想に示された地域のありたい姿が達成され、めざす地域像の実現へとつながっていきます。



第3章 令和6～13年度の取組み事業

1 継続事業

専門部名等	事業名と事業内容	事業の方向	市民生活の視点				
			豊かに育つ	にぎわいが生まれる	安心・安全	快適な環境	情報発信
全体事業	<input type="checkbox"/> 実行委員会 加茂コミスポーツデー	継続	○	○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 実行委員会 文化祭	継続	○	○	○	○	
	<input type="checkbox"/> にぎやか発表会	継続	○	○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 寄せ植え教室	継続	○		○	○	
	<input type="checkbox"/> 世代間交流イベント	継続	○	○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 実行委員会 加茂まつり（盆踊り）	継続	○	○	○	○	
重点 加茂遺跡クラブ	<input type="checkbox"/> スタンプラリー（共催事業）	継続	○	○		○	
	<input type="checkbox"/> 新しい「加茂ガイドブック」作成プロジェクト	継続	○	○		○	○
	<input type="checkbox"/> 地域歴史の再発見	継続	○	○		○	○
体育部	<input type="checkbox"/> 加茂コミスポーツデー（重複）	継続	○	○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 学校プール開放	継続	○			○	
	<input type="checkbox"/> ふれあいスポーツ大会	継続	○	○		○	
文化部	<input type="checkbox"/> 文化祭	継続	○	○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 講習会	継続	○	○			
環境部	<input type="checkbox"/> コミイベントに参画	継続			○	○	
	<input type="checkbox"/> ごみや環境等の講習会	継続			○	○	○
	<input type="checkbox"/> 最明寺川・寺畑前川を清掃・環境保全	継続	○		○	○	
安全部	<input type="checkbox"/> コミイベントに参画	継続			○	○	
	<input type="checkbox"/> 安全に関する講習会	継続	○		○	○	

専門部名等	事業名と事業内容	事業の方向	市民生活の視点				
			豊かに育つ	にぎわいが生まれる	安全・安心	環境	快適な
地区 福祉 委員会	<input type="checkbox"/> 福祉ネットワーク会議	継続			○		
	<input type="checkbox"/> 福祉拠点維持・運営	継続	○		○		
	<input type="checkbox"/> 情報の受発信事業	継続			○		○
	<input type="checkbox"/> ボランティア活動事業 ほのぼの会	継続			○	○	
	<input type="checkbox"/> 避難行動要支援体制づくり事業	継続			○		
	<input type="checkbox"/> 交流事業；ひろばサロン会・相談会	継続			○		
	<input type="checkbox"/> 交流事業；手話 花花たんぽぽ	継続	○		○		
	<input type="checkbox"/> 交流事業；「カフェ憩い」	継続			○		
	<input type="checkbox"/> 交流事業；一人暮らし高齢者対象「百寿会」	継続			○		
	<input type="checkbox"/> 交流事業；園児・高齢者の集い	継続			○		
	<input type="checkbox"/> 交流事業；障がい者団体 「加茂フラワ会」	継続			○		
	<input type="checkbox"/> 交流事業；脳トレ麻雀会	継続	○		○		
	<input type="checkbox"/> 交流事業；囲碁・将棋会	継続	○		○		
	<input type="checkbox"/> 認知症啓発支援事業	継続			○		
<input type="checkbox"/> 福祉委員会研修会事業	継続			○			
福祉 委員会	<input type="checkbox"/> 交流事業；イベントに参画	継続			○		
	<input type="checkbox"/> 交流事業；夏休みふれあい交流	継続	○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 交流事業；花いっぱい作戦	継続		○	○	○	
広報 委員会 ・ HP	<input type="checkbox"/> 機関誌発行（年数回）	継続	○	○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> コミュニティ行事写真撮影・随時取材	継続					○
	<input type="checkbox"/> HP 維持管理	継続		○	○		○
	<input type="checkbox"/> 情報発信 メールマガジン・公式LINE発信	継続		○	○		○

専門部名等	事業名と事業内容	事業の方向	市民生活の視点				
			豊かに育つ	にぎわいが生まれる	安全・安心	快適な環境	情報発信
人権啓発推進委員会	<input type="checkbox"/> 人権講座 講座や映画会、人形劇、絵本語りなど。年6回開催	継続	○		○		
	<input type="checkbox"/> 啓発活動 人権標語入ティッシュ配布やコミイベントに参画	継続	○		○		○
	<input type="checkbox"/> 現地学習会	継続	○		○		
ジョイフルフレンド倶楽部	<input type="checkbox"/> フラワーアレンジ教室 複数回開催	継続	○				
	<input type="checkbox"/> お料理教室 複数回開催	継続	○				
	<input type="checkbox"/> ミュージックベル教室 複数回開催	継続	○				
	<input type="checkbox"/> 理科実験教室	継続	○				
	<input type="checkbox"/> ニュースポーツ体験会	継続	○				
	<input type="checkbox"/> お菓子教室 複数回開催	継続	○				
	<input type="checkbox"/> 茶道教室 3日間	継続	○				
重点 自主防災会	<input type="checkbox"/> 防災倉庫点検・管理・備品の充実	拡充	○				
	<input type="checkbox"/> 防災訓練・意識の啓蒙・防災マップ充実	継続	○		○		○
	<input type="checkbox"/> 地区防災計画の策定	継続			○	○	○
	<input type="checkbox"/> 小学生対象の防災学習	継続	○		○		○

重点プロジェクト

第2期地域別計画に掲げた取組みの中から、2つの重点プロジェクトを設定します。
第2期計画の振り返りを踏まえ、再度内容等検討しながら実施していきます。

1) 加茂遺跡クラブ(一般公募)の充実

加茂には、加茂遺跡や鴨神社など、いにしへの時代から受け継いだ歴史や文化がたくさん残っています。これらを今後も引き継いでいきます

1 加茂遺跡スタンプラリー(共催)

当クラブは、川西市(主催)、川西市文化財ボランティアガイドの会(共催)と共に加茂遺跡の8ポイントを巡るスタンプラリーを毎年11月に実施しており、加茂遺跡の全容が分かるものとして人気が高く今後も継続していきます。

2 加茂の歴史散策ーガイドブック作成

ガイドブック①では、加茂の弥生時代の概要説明等を行いました。

ガイドブック②では、鴨神社、地域産業と生活を紹介しました。

加茂地域には、更に未発見な歴史遺産、文化があり、ガイドブックの作成を継続していきます。

3 地域の再発見

- ① 加茂遺跡は国指定の遺跡ですが、市で継続実施されている発掘調査により、弥生時代全体の規模、遺構等が解明されてきており、住民への発掘調査講演会を予定していきます。
- ② 最明寺川沿岸に自生しているカラムシから糸を紡ぎ、貫頭衣を制作し、弥生時代の衣装を再現し、各種イベント時に展示していきます。
- ③ 弥生時代から続く加茂の歴史遺産を「加茂っ子」に引き継いでもらうため、「弥生人の体験」として火起こし、貫頭衣を着る等をイベント時にしていきたいと考えています。

2) 自主防災会事業の充実

当地域では平成7年1月に発生した阪神淡路大震災を体験しておりますが、令和7年で30年を向かえようとしており、大変な被害を受けた記憶が薄らいでいます。100年周期で起きるとされる南海トラフ巨大地震が近い将来起きる事も予想されます。地球温暖化による異常気象で風水害が多発化しています。加茂小地域には14の自治会があり、約11,000の方が住んでおられますが、高齢化が急速に進んでおり、災害時には被害を受けても最小限で済むように事前の対策が必要と考えます。

1. 加茂小地区防災年次計画を策定しながら、加茂小地区防災マニュアルを作成します。
2. ハード面では、防災倉庫の資機材の充実、一時避難所の整備、各自治会が道路防災設備を必要に応じ設置するよう市に要請します。
3. ソフト面では、住民の防災意識の向上を図るための出前講座やおしゃべりカフェを開催します。
4. 災害時図上訓練（DIG）、避難所開設訓練（HUG）を通じて地域の課題を認識し改善していきます。安否確認・風水害訓練、初期消火訓練・炊き出し訓練等の実地訓練や避難行動要支援者を支えあう地域づくりを目指します。
5. 各種の図上・実地訓練を住民が体験しておれば、自宅から一時避難所まで、更に現地対策本部として避難所開設運営がスムーズに行えます。これらの根底となるのは、顔の見える日頃の近所づきあいが出来ていることです。訓練で課題を抽出し、解決策を実行していく（PDCA）ことが総合的な減災対策と考えます。

加茂小地域 地域別計画

令和6年5月策定（令和6年5月発行）
策定 第3期地域別計画検討委員会
編集・発行 加茂小コミュニティ協議会
〒666-0025
川西市加茂3丁目13-23
電話：072-757-0210